

第2回地域学シンポジウム

「史料保存とアーカイブズ」

講演会・シンポジウム

入場無料

定員60名

いわゆる「平成の大合併」により、全国の市町村は以前の半分近くに減少しましたが、その際消滅した市町村の公文書・資料をどう保存していくか、大きな問題となっています。また「公文書の管理に関する法律」(略称公文書管理法)が、2011年4月から施行予定ですが、現在佐賀県内に「文書館」を設置した自治体は無く、大きな課題です。

このように、現在行政・市民あげての公文書や歴史資料の保存・管理についての取り組みが必要な状況です。そこで本シンポジウムは、アーカイブズ(記録資料/文書館)のあり方について、公文書管理法で何が地方自治体に求められるのか、地方自治体による文書館設置・運営には何が必要か、といった点を議論し、佐賀県におけるアーカイブズのありかたについて考える場とします。

午後13:00～

2009年 11月15日[日]

佐賀大学 附属図書館[4階大会議室]

開 会 13:00～

◎高橋 実 国文学研究資料館教授 13:05～

「アーカイブズ・システムと公文書管理法
—佐賀にもアーカイブズを—

◎小松 芳郎 松本市文書館館長 13:50～

「地方文書館の設立と問題点」

◎平田 豊弘 天草市教育委員会主幹 14:35～

「情報公開から天草アーカイブズへ」

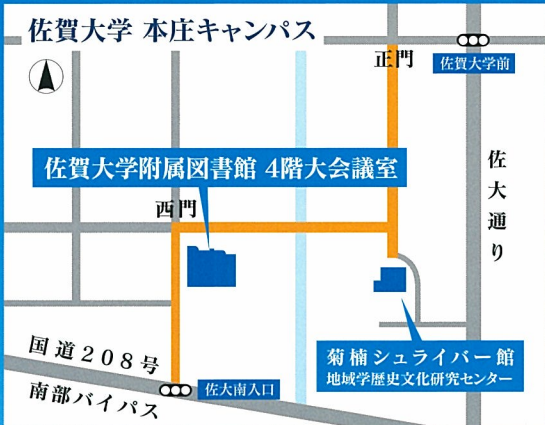
休 憩 15:20～

◎シンポジウム 15:30～

「史料保存とアーカイブズ
—地方文書館の設立の意義—

◎パネラー／高橋 実、小松 芳郎、平田 豊弘

終 了 ～16:00



◎お問い合わせ先

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

〒840-8502

佐賀県佐賀市本庄町1番地 TEL・FAX 0952・28・8378

E-mail : chirebun@ml.cc.saga-u.ac.jp

記